COVIDIEN

**2011 年 10 月 29 日改訂(第 5 版)
*2010 年 9 月 1 日改訂(第 4 版)

医療機器認証番号　218AABZX00088000

機械器具(12)　理学診療用器具
JMDN コード：16837000　逐次型空気圧式マッサージ器
（間欠型空気圧式マッサージ器）
管理医療機器

SCD エクスプレス
（大腿丈滅菌）

再使用禁止

【警告】
1. 本品の使用前に、この添付文書および SCD エクスプレス（または接続するコントローラ、以下「コントローラ」）の添付文書・取扱説明書のすべてを熟読すること。
2. 本品は、医師または医師の指示を受けた専門の医療従事者のみが使用すること。

＜使用方法＞
1. 破損したチューブコネクタを修理または再接続しないこと［適切に膨張しなくなる危険性があるため］。

【禁忌・禁止】
1. 再使用禁止。使用後は廃棄し、再滅菌したり再使用したりしないこと。
2. 本品は同一患者使用である。複数の患者に使用しないこと。
3. 破損したチューブコネクタを修理または再接続しないこと［適切に膨張しなくなる危険性があるため］。

＜併用医療機器＞
1. 本品を SCD エクスプレス（医療機器認証番号：218AABZX00088000）または SCD レスポンス セークエンシャル コンプレッション システム（医療機器承認番号： 21400BZY00291000）以外と組み合わせて使用しないこと［製品の安全性と効果が保証できないため］。

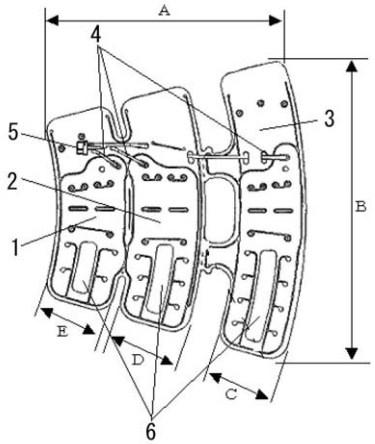
＜適用対象（患者）＞
1. 以下に該当する患者に対する使用禁止：
(1) 皮膚炎、静脈結紮（手術直後）、壊疽、最近行った皮膚移植［スリーブを装着した下肢が損傷する可能性があるため］。
(2) 重度の動脈硬化症またはその他の虚血性血管疾患
(3) 下肢の広範な浮腫またはうっ血性心不全による肺浮腫
(4) 下肢の極度な変形
(5) 深部静脈血栓症の既往症が疑われる患者

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造等

本品は、SCDエクスプレスに専用の接続チューブで接続して使用するスリーブである。
なお、別売の接続チューブ（製品番号: 9918）を使用することにより SCD レスポンス セークエンシャル コンプレッション システムと接続して使用することも可能である。本品はラテックスを使用していない。大腿部の周囲が 71.1cm 未満の患者に適用する。

(1)構成



番号	部品名称	番号	部品名称
1	第 1 チャンバ	4	スリーブ接続チューブ
2	第 2 チャンバ	5	スリーブコネクタ
3	第 3 チャンバ	6	面ファスナ

部位	サイズ（mm）
A の長さ	480
B の長さ	695
C の長さ	100
D の長さ	175
E の長さ	170

2. 原理

本品は複数チャンバからなるスリーブで、大腿部丈スリーブは足首部（第1チャンバ）、ふくらはぎ部（第2チャンバ）、大腿部（第3チャンバ）の3つのチャンバから構成される。
本品に接続したコントローラからの圧縮空気が第1チャンバから第3チャンバの順に逐次的に注入されることによりスリーブが膨張し、その後排気することで加圧を休止して収縮する周期を繰り返す。

【使用目的、効能又は効果】

患者の脚を空気圧で圧迫することにより、静脈の血行を促進し、静脈血栓塞栓症の予防及び血液のうっ滞や浮腫を軽減する。

【品目仕様等】

空気圧：　6.0kPa(45mmHg)［最大空気圧］
加圧時間：　11 秒
加圧休止時間：　20～60 秒

【操作方法又は使用方法等】

1. 本品をパッケージから取り出す。
2. 本品の内側の上に、患者の下肢をのせる。患者の下肢がスリーブの中心にくるようする。
3. 面ファスナが付いて**いない**方から患者の下肢にしっかりと巻きつける。
4. 患者の足首、ふくらはぎ、大腿部の順に面ファスナでしっかり固定する。このとききつく締めすぎないこと。スリーブと足の間に指が 2 本入るぐらいの締め方が適切である。定期的にスリーブの締め具合を修正すること。本品には、210cm(84 インチ)の延長チューブがあり、滅菌野を保護できる。適切に滅菌チューブを扱い、滅菌野を保護すること。
チューブをクランプしたり、クリップを使用しないこと。
下肢の一部に圧力が偏らないようにすること。特に患者が腹臥位、膝を曲げた状態や横向きに寝ている際に注意すること。本品は、回転させても効果が減少しないため、圧力が偏っている場合は回転させること。
   - SCD エクスプレスのコントローラを使用し、片足のみに適用する場合、専用のチューブを使用する。
   - SCD レスポンス セークエンシャル コンプレッション システム、SCD レスポンスを使用し、片足のみに適用する場合、使用しないスリーブも、コントローラの空いているスリーブコネクタに接続すること。また使用しないスリーブは、包装に入れたままにし、適切な圧力がかかるようにすること。
5. 白いスリーブコネクタをコントローラに接続された接続チューブに接続し、折れやもつれ、ねじれがないことを確認する。対応するチューブが接続されているか確認すること。
6. コネクタの矢印をあわせて白いコネクタを強く押し入れて接続すること。コネクタをはずす際は、しっかりと握って接続しているコネクタを取り外す。
7. 接続チューブが本品コネクタおよびコントローラと正しく接続されていることを確認した後、コントローラの電源オンボタンを押し、作動させる。

SCD エクスプレス本体の添付文書・取扱説明書を必ず参照すること

8. コントローラの冷却装置は可能であれば切っておくこと［手術室で本品を使用する場合は、空気流動を最小限にするため］。

本品は各下肢に対して、段階的加圧と後に続く加圧休止の周期を繰り返す。
推奨される圧力は 4.7～7.3kPa(35～55mmHg)である。
コントローラの圧力は初期値 6.0kPa(45mmHg)に設定される。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1) 医師の指示以外で使用しないこと。
(2) 下肢の一部に圧力が偏ることを防ぐため、本品が患者の下肢に正しく装着されていることを確認すること。
(3) 本品とコントローラが正しく接続されていることを確認すること。
(4) 接続チューブの折れやもつれ、ねじれがないようにすること［通気を妨げる可能性があるため］。
(5) 患者がしびれ、刺痛または下肢の痛みの訴えた場合は、本品を取り外すこと。
(6) 手術室でスリーブを使用する場合は、可能であればコントローラの冷却装置を停止すること［室内の空気流動を最小限に抑えるため］。

2. 不具合･有害事象

本品の使用に際し、以下のような有害事象が生じる可能性がある。異常が認められたら直ちに使用を中止すること。

(1) 接触性皮膚炎
(2) コンパートメント症候群
(3) 尖足
(4) 腓骨神経麻痺

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

高温、多湿、直射日光および水濡れを避けて室温で保管すること。
また、0℃～32℃で保管すること。

2. 有効期間・使用期限

外装表示参照

【包装】

1 箱 5 ペア入り

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：
コヴィディエン ジャパン株式会社
〒158-8615 東京都世田谷区用賀 4-10-2
お問い合わせ先：0120-998-971

*外国製造業者名：
Covidien
（コヴィディエン）
アメリカ合衆国

**販売元：
日本コヴィディエン株式会社
お問い合わせ先：0120-998-971